

ストローで家づくり、ものづくりの楽しさを伝える

日本建設産業職員労働組合協議会（日建協）、田中宏幸議長）は21日、埼玉県久喜市立東小学校で小学生向けの出前



講座を行った。写真。文部科学省が行っている「土曜学習応援団」に賛同しており、他の5団体と共に、同校の放課後子ども教室「さくらっ子ゆうゆうプラザ」の10周年記念特別講座「キッズニアinさくらっ子」で講座を実施。3～6年生12人に、ストローとクリップで家を造ってもらい、建設の仕事のやりがいやものづくりの楽しさを感じてもらった。

講座では、班ごとに設計図を作成した上で、仲間と一緒に家を造り、高さ、美しさ、

日建協が久喜東小で出前講座

強さを競った。司会を務めた中村浩一日建協政策企画局長は、「どんなに大きな建物もたくさんの方が力を合わせて一生懸命造っています。そうした建物で皆さんは生活したり、勉強したりしています。ストローハウスを造ってみて、建設の仕事のやりがいや大切さを感じてもらえたらうれしいです」とあいさつした。子どもたちの作業は、保護者が見学した。

日建協は、今後も建設の仕事伝える取り組みを積極的に行うという。